

あなたの声を“カタチ”にします！

勝山ひでお通信

Vol. **30**



ごあいさつ

日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
コロナ禍により閉塞感が漂う中ではありますが、10月に入りワクチン接種が進んだことにより、感染状況も落ち着いてきたように感じます。このまま順調にワクチン接種、治療薬の開発など感染対策が進み、第6波が来ることなく、収束する事を願うところであります。

長野市議会では、9月定例会に委員会の改編が行われ、常任委員会が「福祉・環境委員会」、特別委員会が「観光戦略調査研究特別委員会」に所属することになりました。withコロナ、ポストコロナ時代の市民の福祉の増進、環境対策の推進、来年の御開帳に向けた観光戦略等、重要課題に全力で仕事に取り組んで参ります。

今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

押し店 プラチナチケット事業スタート！

お

みせ

令和3年度

長野市 押し店 プラチナチケット

取扱店舗はこのポスターが目印▶

販売期間

令和3年10月9日～令和3年12月31日①まで
令和4年1月31日②まで※

利用期間

~~令和3年12月31日①まで~~
令和4年1月31日②まで

利用期間延長しました

見本

※10月9日が定休日の場合は翌営業日から開始日とします。
※各店舗の販売日は取扱店舗ページにてご確認ください。
※売切れ次第、販売終了。
※チケットの販売開始時期、利用期間については、新型コロナウイルスの感染状況等により変更する場合があります。

押し店 プラチナチケット

【令和3年12月31日(金)まで】と印字されていますが、【令和4年1月31日(月)まで】ご利用いただけます。

令和3年3月議会、公明党代表質問で推進させて頂いた「押し店プラチナチケット事業」が、10月9日（土）よりスタートしました！

販売価格3,000円のプラチナチケットで5,000円分のお食事、商品を購入することが出来ます！

この取組により、新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが減少した業種の支援、落ち込んだ市内経済の活性化が図れます。

是非、この機会に“お得に”お食事・お買い物をしながら、長野市内の経済の活性化にご協力頂きますよう、宜しくお願い申し上げます！

取扱店など 詳しい事は

長野市 押し店

発行： 勝山ひでお

TEL/FAX 026-296-5328

長野市下駒沢2253-1

E-mail: katsuyama@nkomei.com

9月議会の個人質問

9月定例議会で個人質問に立たせていただきました。主な質問項目は、「がん患者への支援について」「おくやみコーナーの設置について」「令和元年東日本台風被災地の住環境の整備について」の3項目です。

今回の質問は全て、市民の皆様からいただいた声をもとに作成させていただきました。

これからも皆様の声を市政に届けて参ります！皆様の忌憚の無いご意見・ご要望をお待ちしております。



がん患者への支援について

勝山 がん患者にとって治療により髪の毛が抜けたり乳房を切除する等、外見の変化は大変なストレス。その悩みを解消のため医療用ウィッグや人口乳房があるが、ウィッグは1つ3万円から10万円。健康保険対象外なので経済的な負担が重い。他市のようにがん患者のアピランス（外見）支援を実施すべき。

保健所長 がん患者が治療で外見の変化をきたすことがあり、不安や苦悩を抱えながら日常生活をしていることは理解している。しかし、医療用ウィッグや人工乳房の購入に対する助成制度については、対象者や補正具の要件、助成回数など課題がある。今後、国、県、他自治体の動向を注視し研究する



おくやみコーナーの設置について



勝山 昨年9月議会に、おくやみコーナー設置を要望させて頂き「市民サービスの向上と職員の業務効率化を目指してまいりたい」と答弁を頂いたが、その後の検討状況は？

地域・市民生活部長 現在、おくやみコーナー設置に向けた調査・研究を行っているが、「専用力OUNTER」や「人員体制の整備」また、「本市の実情に合った運用」等が課題。当面は現状の枠組みで対応しつつ、先進都市の取組を参考にしながら検討する。

令和元年東日本台風被災地の住環境の整備について

勝山 被災地の長沼・豊野の住民の方から最近、新たな課題が発生していると伺います。一つ目は、公費解体後、管理されず「くさ藪」になっている空き地がある。周辺住民が困っている。二つ目は、被災したが解体されず、そのままの状態の空き家がある。景観上・防犯上良くない。何とかして欲しいとの事。市で対応いただきたい。市はどのように状況を把握し、対応しているか伺う。

環境部長 現在、草だらけになっている土地は、把握していない。今後、問い合わせがあった場合、土地所有者等に連絡をし、適正に管理していただくよう働きかける。なお、ご自身で草刈りができない場合等は、シルバー人材センターなどを紹介して、適正な管理をしていただくようお願いする。

建設部長 市では、被災直後より空家の状況や所有者調査を進めてきた。そして空家の所有者に対して、適正管理のお願いと公費解体の制度のお知らせを通知した。対応していただけない物件に関しては今後も、引き続き文書により通知するが、著しく景観を損なうなど特定空家等と判断できる場合は、空家法による指導・勧告等の措置を行う。

